



# なが おか 市議会だより

219号  
2021.9.1

編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画中継を配信中→<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/>

## 市議会の新体制がスタート

5月18日に行われた5月臨時会において、議長・副議長選挙が行われ、投票の結果、議長に松井一男議員が、副議長に山田省吾議員が当選しました。選挙にあたっては、開かれた議会運営を行うため、議会基本条例に基づき所信表明会を実施しました。

このたび、議長選挙において、議員各位より多数のご支持をいただき当選いたしました松井一男です。

現下の長岡市の課題は、新型コロナウイルス対策であり、より一層の緊張感を持ち、議会および理事者が一丸となってまい進努力する必要があります。

本市は3度にわたる平成の合併で、11市町村が1つになり、広大な市域を有する個性豊かな市となり、議員に対する市民の期待、議員の職責も増大しております。本市議会では、これまで数多くの議員発議の条例が制定されてまいりました。引き続き令和の時代に向けた新たな条例の提案や既存条例の見直し等、政策提案も必要であると考えます。

議会総体としては、民主主義の基本である少数意見の尊重、時間の許す限りの議論と合意形成が肝要であると認識しております。常に熟議し、市民のために最良の意思決定を行うことを旨としつつ、皆様のご協力をいただきながら、長岡市議会の歴史と伝統に深く思いをいたし、新たな時代に向けた議事機関としての使命達成のため、全力を尽くしてまいります。

皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご協力をお願い申し上げます。



議長  
松井一男

このたび、副議長選挙において、皆様のご支援により当選いたしました山田省吾です。責任の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。

現在、長岡市においても喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症に関しては、市議会として市民の命や健康を第一に、感染防止対策や経済対策など、引き続き迅速に適切な施策が実現できるよう行政側と連携し、全力で取り組んでまいります。また、本市が長年抱える人口減少や少子高齢化、地域活性化等多くの重要課題に対しても、二元代表制の一翼を担う議会としての役割を十分に果たせるよう進めてまいります。

この困難な局面だからこそ、歴史と伝統ある長岡市議会の立派な部分を継承しながら、初心を忘れず原点に返り、今後も議員活動をしてまいります。引き続き、議員各位のお力添えをいただきながら、令和の時代にふさわしい長岡市議会になるよう副議長として松井議長を補佐し、市政の発展や地域活性化の促進、ウイルス禍における市民生活の安定など様々な課題解決に向けて、議会の公平かつ円滑な運営に努めてまいります。

皆様方のより一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



副議長  
山田省吾

## 6月定例会で 審議しました

6月定例会は6月15日から6月28日までの14日間の会期で行われました。令和3年度一般会計や特別会計の補正予算など市長提出議案等25件を審議しました。

### 補正予算を可決

- 移住定住推進事業費
- 男女共同参画推進事業費
- 障害者就労事業所支援事業費
- 休日急患診療所運営事業費
- 社会資本整備総合交付金事業
- 災害復旧事業費（融雪等災害）

1006万8千円	1500万円	500万円	1877万8千円	2億6550万円	5568万3千円
ほか					



提案理由の説明を行う磯田市長

## 議員表彰

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、4人の議員が表彰されました。



古川原 直人議員 (議員在職15年)	関 正史議員 (正副議長在職4年) (議員在職20年)	杵淵 俊久議員 (議員在職20年)	山田 省吾議員 (議員在職15年)
-----------------------	-----------------------------------	----------------------	----------------------

### <目次>

補正予算の概要、議員表彰	1
一般質問	2
会派別議案等賛否一覧表、特別委員会の中間報告	4
新しい委員の選任、常任委員会の所管に関する質問	5
市議会の活動状況、政務活動費収支報告	6



議会の臨場感をスマホでも!

各議員の顔写真の右下にQRコードを掲載しています。スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問が動画でご覧いただけます。



### 6月定例会

# 11人が一般質問

主な質問と答弁の要旨を掲載します

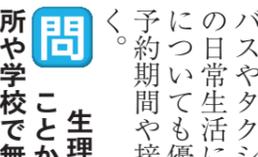


池田 明弘 (長岡市公明党)

#### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 64歳以下のワクチン接種開始を8月以降と目途が立つが、高齢者の接種完了に目途が立たないことから、前倒しすべきと考えるが、市の考えを伺う。また、優先接種対象者の考え方や、その先行予約期間、接種時期について伺う。

**答** 64歳以下の接種については7月から開始し、早期にすべての希望者が接種できるようにして尽力する。優先接種の対象者については、国が定めるワクチン接種の優先順位は、高齢者の次は基礎疾患のある方と高齢者施設等の従事者である市としてはこれに加えて、保育士や小・中学校の教職員をはじめ、



松野 憲一郎 (長岡令和クラブ)

#### 生理の貧困が顕在化したことからの、生理用品を市役所や学校で無償配布すべきと考えるが、市の考えを伺う。また、国が拡充した地域女性活躍推進交付金を活用した事業について伺う。

**答** 女性が経済的な理由等で生理用品を購入できないという生理の貧困は、全国的な問題となっている。市では、地域女性活躍推進交付金を活用し、NPO法人等の民間団体と連携して、生理用品等の無償提供を行う予定である。また、新型コロナウイルス感染症によって孤独を感じている女性に対し、社会とのつながりを回復する支援として、相談体制の確保や女性同士が支え合う居場所づくりを包括的に実施したいと考えている。これらの取り組みを進める中で、困難を抱える女性の背景にある課題を把握し、それに合わせた支援を行っていく。



#### 新型コロナウイルス関連対応

**問** ワクチン接種率向上への取り組みについて伺う。

**答** ワクチン接種の円滑な推進には、ワクチンの効果や副反応への対応など、接種に必要な情報を正確に市民へ伝えることが重要であると認識している。市政だよりの活用や、市のホームページ内の「よくある質問」にQ&A形式で情報を掲載するなど、分かりやすい情報発信に努めている。今後もワクチン接種に関する理解促進に向け、あらゆる手段を活用して周知を図っていく。

**問** 新型コロナウイルス禍で経済活動が滞っている業種などへの

の政策を検討する時期にあると思うが、ワクチン接種完了後の地域経済への支援について市の考えを伺う。

**答** ウイルス禍において、対応面での営業活動が停止している実態があり、これが直ちに以前と同様の営業形態に戻ることは困難な状況の中、インターネットの活用が必須となっている。ウェブ見本市やECサイトへの出店、海外での営業等、新規需要開拓の支援をこれまで以上に強化していきたい。さらに、実効性のある事業継続計画策定のほか、IoT、AI設備やロボット導入に加え、データ解析や遠隔操作等の取り組みについても支援していきたい。また、市が実施した新規需要開拓サポート補助金において、100件の申請見込みに対して180件を超える申請があるなど、新規事業展開に多数の事業者が挑戦する状況がある。この状況を踏まえ、市もしっかりと支援し、地域経済の活性化を図っていく。

●その他の質問  
投票率向上について

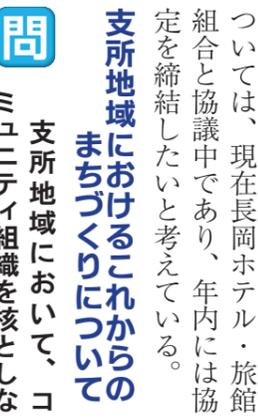


多田 光輝 (市民クラブ)

#### 災害時の避難対策について

**問** 災害時における要配慮者の避難所対策について伺う。また感染症対策として、ホテルや旅館等を補助的な避難所として活用する仕組みの検討について伺う。

**答** 避難室や福祉避難所の他に、専門的な対応が必要な避難施設を確保するため、現在29の社会福祉法人等と協定を結び、67カ所の特別養護老人ホーム等を緊急受け入れ施設としている。今後も社会福祉法人等と情報交換を行い、要配慮者の避難所確保のため、更なる協定の締結や避難先の確保に努めていく。なお、ホテル等の活用につ



大竹 雅春 (市民クラブ)

#### 支所地域におけるこれからのまちづくりについて

**問** 支所地域において、コミュニティ組織を核としながら地域の特性を生かしたまちづくりを行うためには、これまで以上に地域の実情に配慮した支援が必要と考えるが、市の考えを伺う。

**答** 支所地域におけるまちづくりについては、地域の特性を踏まえながら進めていくべきである。そこで、コミュニティ組織が核となり、支所の職員や地域の活動団体と連携しながら、地域の活性化や課題解決に取り組んでいく体制を強化していきたい。また、コミュニティ組織に対しては、地域活動の現状、面積や地形などの様々な地域特性、実情に配慮しながら、まちづくりの核として必要な体制づくりや活動等への支援を検討し、実施していく。

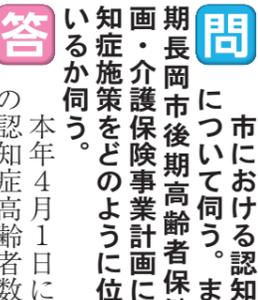


大竹 雅春 (市民クラブ)

#### 認知症施策について

**問** 若年性認知症施策について、市の取り組み状況を伺う。

**答** 市内では三島病院認知症疾患医療センターに、県が若年性認知症支援コーディネーターを配置しており、医療だけでなく社会保障や社会参加、福祉介護サービス等様々な相談に応じ、利用可能な制度の紹介や居場所づくり等のサポートを行っている。また、長岡地域では今年度からコーディネーターを中心に若年性認知症の方やその家族を対象とした定期的な交流会の開催を計画している。市としては、制度の周知に努めるとともにコーディネーターと連携しながら支援を行っていく。



大竹 雅春 (市民クラブ)

#### 市における認知症の現状について伺う。また、第8期長岡市後期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において認知症施策をどのように位置付けているか伺う。

**答** 本年4月1日における市の認知症高齢者数は、約1万3700人で、高齢者の8人に1人が認知症と捉えられる。今後の高齢者増加に伴い、認知症患者の増加が見込まれる。そこで第8期計画では、認知症施策の推進を施策の柱の1つに位置付けており、認知症に関する正しい知識の啓発や予防活動の推進、早期発見や認知症の方およびその家族の集いの場の提供等、国の認知症施策推進大綱に沿って施策を推進することとしている。

認知症施策の推進は高齢者施策の最重要課題の1つと認識している。地域包括ケアや地域共生社会によって認知症の方をどう支えていくかについては、社会全体の大きな課題である。今後も、認知症施策、地域共生社会の推進にしっかりと取り組んでいく。

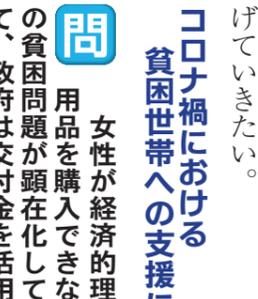


笠井 則雄 (共産党市議団)

#### 新型コロナウイルス対策について

**問** ワクチン接種について、予約日と場所を指定し、予約が実質不要な上越方式や相馬モデルのような予約方法の検討を行うべきと考えるが、市の考えを伺う。また、予約が困難な市民に対する市の対応について伺う。

**答** 一般接種の予約方法については、現在、他の自治体に負担の少ない予約方法を検討している。予約困難者への対応については、各地域の民生委員等を通じて予約ができていない人の把握に努めている。また、医師会等関係機関との調整を進め、訪問接種等につな



笠井 則雄 (共産党市議団)

#### コロナ禍における貧困世帯への支援について

**問** 女性が経済的理由で生理用品を購入できない、生理の貧困問題が顕在化しているとして、政府は交付金を活用した生理用品の提供や相談体制の充実を求めている。市における学校や自治体窓口等、公共施設への配置計画について伺う。また、支援団体との連携も必要だと考えるが、市の見解を伺う。

**答** 市では、小・中学校等の理用品の無償提供を行う予定である。併せて、実施においては、民間団体が行う多種多様な活動やネットワークを生かし、女性が抱える課題に対して丁寧な寄り添った支援を行っていく。

●その他の質問  
柏崎刈羽原発の再稼働問題について  
地域企業などの成長と持続的発展について

**ホームページで議会情報を発信中!**

本会議・常任委員会・特別委員会は、ホームページで生中継・録画中継しています。なお、本会議・常任委員会は、ケーブルテレビでもご覧いただけます。再放送は会議開催日当日の午後7時から放送します。

長岡市議会

議会の日程や議案等の概要、会議録なども載っていますので、ぜひアクセスしてください。



五十嵐 良一 (民成クラブ)

柏崎刈羽原発の再稼働問題

こいつて

市町村による原子力安全対策に関する研究会の、首長懇談会における東京電力への意見について伺う。また、国や新潟県から示された原子力災害時の避難実効性に関する説明内容を伺う。

柏崎刈羽原発における一連の不適切事案を受け、出席した市町村長から東電に対し、信頼感が地に落ちたなど、企業風土や安全文化に対する厳しい意見が出された。

原子力災害時の避難の実効性については、豪雪時の避難については議論が集中した。内閣府からは、雪に対する知見を取り入れるに当たり、地元自治体と連携し、対応



荒木 法子 (市民クラブ)

米百俵プレイス(仮称)建設と選ばれるまち長岡の実現について

米百俵プレイス(仮称)について独自にアンケートを行った結果、駐車場や来館のしやすさについて期待と心配の声が多くあった。現在の検討状況と今後の方針を伺う。

駐車場の利用料金について検討を進めている。市は、利用料補助について、アオーレ長岡等の公共施設のバランスの他、持続可能な行政運営プランに基づいて受給者負担も視野に入れながら検討を行っている。また、利用者にとって分かりやすい駐車場の動線確保を念頭に、現行の規制解除も含め、関係機関と協議を進めていく。さらに、車を持たない方も

策を検討していくとの説明があり、県からは、検証委員会における議論の取りまとめ状況についての説明があった。また、市町村との連携強化について要望があり、要望のとおりに進めていきたいとの回答があった。

策を検討していくとの説明があり、県からは、検証委員会における議論の取りまとめ状況についての説明があった。また、市町村との連携強化について要望があり、要望のとおりに進めていきたいとの回答があった。

新型コロナウイルス対策等における危機管理について

こいつて

積極的な感染情報の公表は、市民の自衛や協力を促し、感染拡大を抑えたいと考える。一方で、感染者の権利保護の観点から、不当な差別や偏見等が起らないような市民啓発が必要であると考えるが、市の認識を伺う。

市では、県の情報を基に呼びかけている。引き続き保健所に対して市内の感染経路に関する詳細な情報の提供を求めながら、市民に分かりやすい感染防止対策を呼び掛けるとともに、万が一にも誹謗中傷につながるような発言に努める。

訪問しやすい仕組みづくりとして、訪れたくなる動機づけが必要と考へ、魅力ある施設づくりを目指していく。

人とペットの災害対策について

人とペットの災害対策について

ペットとの同行避難は、動物愛護や公衆衛生、飼育者の心のケアの観点からも重要である。各指定避難所において、あらかじめペットの屋内受け入れスペースを決めておくべきだと考えるが、市の見解を伺う。

災害に備え、あらかじめペットを受け入れる避難所とすることを検討している。必要であれば、避難所の規模はもとより、地震や水害といった災害の種類や程度、避難所の開設が一時の種類のなか、長期に及ぶものかなどの様々な条件によって変わってくる。そのため、市では全ての避難所で一律にペットの飼育スペースを設けることは困難と考える。選定に当たっては、拠点的な避難所、県の施設等の活用も含め、今後関係者と協議しながら検討していきたい。

策を検討していくとの説明があり、県からは、検証委員会における議論の取りまとめ状況についての説明があった。また、市町村との連携強化について要望があり、要望のとおりに進めていきたいとの回答があった。



神林 克彦 (長岡令和クラブ)

長岡市における避難行動要支援者への支援体制について

こいつて

町内会等への早期避難情報提供や、共助による避難行動を計画するための地域の防災タイムラインの作成など、地域団体や地域住民との連携が効果的であると考えるが、市の考えを伺う。

警戒情報を効果的かつ効率的に活用することは、要支援者の支援に最も重要であると考えており、一斉架電システムや登録制メール配信の活用等により、早期の注意喚起を実施している。また、いざというときの行動をあらかじめ検討できるタイムラインの仕組みは、共助の避難行動計画時に大変効果的であると考える。今後も共助を推進するための仕組み

警報の提供や、共助による避難行動を計画するための地域の防災タイムラインの作成など、地域団体や地域住民との連携が効果的であると考えるが、市の考えを伺う。



諏佐 武史 (無所属)

長岡市役所の組織体制について

昨年6月定例会の関貴志議員に対する市答弁では、確定記録の内容を全て事実として議論することは慎むべきである、という見解が示された。しかし、確定記録法の専門家は「確定記録は公文書であり、それを用いて行政行為の適正さを検証することは望ましい行為」としている。また、この本会議を主宰する議長も、議会質問における確定記録の援用は問題ないとしている。市答弁の立場を前提とすると、議会において

確定記録の内容を全て事実として議論することは慎むべきである、という見解が示された。しかし、確定記録法の専門家は「確定記録は公文書であり、それを用いて行政行為の適正さを検証することは望ましい行為」としている。また、この本会議を主宰する議長も、議会質問における確定記録の援用は問題ないとしている。市答弁の立場を前提とすると、議会において

確定記録の内容を全て事実として議論することは慎むべきである、という見解が示された。しかし、確定記録法の専門家は「確定記録は公文書であり、それを用いて行政行為の適正さを検証することは望ましい行為」としている。また、この本会議を主宰する議長も、議会質問における確定記録の援用は問題ないとしている。市答弁の立場を前提とすると、議会において

みづくりやそれに対する市の支援体制の充実を関係機関と連携し、対策に取り組んでいきたい。

今年度予定している総合防災訓練の内容や、ウイルス禍での感染症対策の状況について伺う。

こいつて

今年度の防災訓練は、できるだけ多くの市民から避難行動と避難場所の運営を体験してもらおうことを主眼とした実践的な訓練に改め、自主防災会を対象とした情報伝達訓練や、避難場所の一斉開設訓練を計画している。地域住民と市職員が一緒に訓練を行うことで相互の理解を深め、避難場所の協働運営を実現したい。ウイルス禍の避難場所では、3密回避と感染症対策物資が必要である。マスクや消毒液等の配備は既に完了しており、段ボール間仕切りや屋内テント等も早急に配備する。今後の本格的な出水期を前に避難場所の対策に万全を期していきたい。

今年度の防災訓練は、できるだけ多くの市民から避難行動と避難場所の運営を体験してもらおうことを主眼とした実践的な訓練に改め、自主防災会を対象とした情報伝達訓練や、避難場所の一斉開設訓練を計画している。地域住民と市職員が一緒に訓練を行うことで相互の理解を深め、避難場所の協働運営を実現したい。ウイルス禍の避難場所では、3密回避と感染症対策物資が必要である。マスクや消毒液等の配備は既に完了しており、段ボール間仕切りや屋内テント等も早急に配備する。今後の本格的な出水期を前に避難場所の対策に万全を期していきたい。

今年度の防災訓練は、できるだけ多くの市民から避難行動と避難場所の運営を体験してもらおうことを主眼とした実践的な訓練に改め、自主防災会を対象とした情報伝達訓練や、避難場所の一斉開設訓練を計画している。地域住民と市職員が一緒に訓練を行うことで相互の理解を深め、避難場所の協働運営を実現したい。ウイルス禍の避難場所では、3密回避と感染症対策物資が必要である。マスクや消毒液等の配備は既に完了しており、段ボール間仕切りや屋内テント等も早急に配備する。今後の本格的な出水期を前に避難場所の対策に万全を期していきたい。

に基づいてしか質問できないことになり、非常識である。今でも市の確定記録に対する認識は変わらなにか伺う。

燃やすごみの収集方法について

本市では燃やすごみの収集日が週1回しかなく、負担と感じている市民も多いが、どのように努めてきたのか伺う。

若い世代に向けた対応として、市の公式LINEを活用したごみ収集日のお知らせシステムを導入や、転入者ごみ減量に関するチラシの配布、3歳までの子育て世代への支援として家庭用ごみ袋の無償交付を行ってきた。今後も、燃やすごみの効果的な収集と負担軽減について引き続き情報発信に努めていく。

燃やすごみの収集方法について



諸橋 虎雄 (共産党市議員)

障害のある人が働く事業所と利用者の支援について

こいつて

事業所利用者の新型コロナウイルスウイルスワクチン接種について、通所型事業所も入所施設と同様に、事業所での接種を実施すべきである。また、事業所職員と施設利用者のPCR検査を定期的に無料で行うべきであると考えるが、市の見解を伺う。

通所型事業所利用者のワクチン接種については、高齢者施設の入所者に準じた対応が可能となったため、事業所での接種や集団接種会場を活用した事業所単位での接種を進めていきたい。事業所職員と施設利用者のPCR検査については、市独自の検査費用補助制度を活用していただきたい。

事業所利用者の新型コロナウイルスウイルスワクチン接種について、通所型事業所も入所施設と同様に、事業所での接種を実施すべきである。また、事業所職員と施設利用者のPCR検査を定期的に無料で行うべきであると考えるが、市の見解を伺う。



関 貴志 (無所属)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

市は事前了解権を求めないため、反対しても再稼働する可能性がある。再稼働して事故に至ると、賛成した5キロ圏内の住民の避難が優先され、反対した長岡市民は屋内退避となることは市民感情として受け入れがたいと考えるが、市の見解を伺う。

国の原子力災害対策指針では、30キロ圏内はまずは屋内退避となっている。これは30キロ圏内は5キロ圏内よりも被ばくリスクが低いことや放射性プルームによる被ばくリスクを避け

市は事前了解権を求めないため、反対しても再稼働する可能性がある。再稼働して事故に至ると、賛成した5キロ圏内の住民の避難が優先され、反対した長岡市民は屋内退避となることは市民感情として受け入れがたいと考えるが、市の見解を伺う。

い。集団感染の発生等、感染リスクが高まった際には、検査キットの配付や無料PCR検査の実施について県と協議していきたい。

ウイルス禍による事業所の減収と工賃の減額について、市内事業所の現状と、市独自の支援について伺う。

こいつて

イベント等の多くが中止、縮小されたことで、就労継続支援事業所の販売機会が減少し、収入減により利用者へ支払われる工賃が減少している。昨年度、売り上げが著しく減少した事業所に対して、利用者の工賃上乗せを目的とした支援金を交付した。また、売り上げに寄与するため、市職員に向けて試行的に販売会を行った。今年度は販売会を広く市民に向けて行うことに加え、ネット販売の支援も行いたいと考える。いずれにしても売り上げの増加、販売機会の拡大が必要であり、市や民間企業の調達についても積極的に働きかけていく。

その他の質問

知事との関係性について、今年度の3月議会でも、本市は30キロ圏内人口の約6割を占め、県下第二の都市であり、その発言には重みがあると考える、との答弁があったが、知事も同様の考え方なのか伺う。

3月議会では市の考えを答弁した。県は検証が終わるまで、再稼働の議論はできないとの見解である。ただ、再稼働に対する立地以外の自治体の意思を知事が取りまとめる際には、30キロ圏内の本市の意思は相応に受け止めていただけるのではないかと考えている。

知事との関係性について、今年度の3月議会でも、本市は30キロ圏内人口の約6割を占め、県下第二の都市であり、その発言には重みがあると考える、との答弁があったが、知事も同様の考え方なのか伺う。

※1 放射性プルーム：気体状の放射性物質が大気中を雲のような固まりとなって流れる現象のこと



# 新しい委員を選任しました

◎委員長 ○副委員長

5月臨時会において議会運営委員会および常任委員会の委員、6月定例会において特別委員会の委員の選任を行いました。

## 議会運営委員会

(定数12人 現員12人)  
議会運営に関連する事項を協議

- ◎加藤 尚登 ○杵渕 俊久  
豊田 朗 松野憲一郎 田中 茂樹 大竹 雅春 池田 和幸  
五十嵐良一 中村 耕一 諸橋 虎雄 丸山 勝総 酒井 正春

## 常任委員会

### 総務委員会

(定数10人 現員8人)  
地方創生推進部、総務部、財務部、危機管理防災本部、原子力安全対策室、地域振興戦略部、消防本部などに関連する事項を審査

- ◎大竹 雅春 ○多田 光輝  
五十嵐良一 関 充夫  
中村 耕一 丸山 勝総  
古川原直人 笠井 則雄

### 文教福祉委員会

(定数8人 現員8人)  
福祉保健部、教育委員会に関連する事項を審査

- ◎田中 茂樹 ○神林 克彦  
池田 明弘 加藤 尚登  
長谷川一作 諸橋 虎雄  
桑原 望 関 正史

### 産業市民委員会

(定数8人 現員8人)  
市民協働推進部、環境部、商工部、観光・交流部、農林水産部などに関連する事項を審査

- ◎荒木 法子 ○豊田 朗  
松野憲一郎 深見 太郎  
山田 省吾 水科 三郎  
酒井 正春 小坂井和夫

### 建設委員会

(定数8人 現員8人)  
都市整備部、中心市街地整備室、土木部、水道局に関連する事項を審査

- ◎藤井 達徳 ○池田 和幸  
諏佐 武史 杵渕 俊久  
丸山 広司 関 貴志  
高野 正義 五井 文雄

## 特別委員会

### 克雪・危機管理・防災対策特別委員会

(定数8人 現員8人)  
克雪・危機管理および防災対策に関する調査

- ◎酒井 正春 ○五十嵐良一  
深見 太郎 杵渕 俊久  
丸山 広司 長谷川一作  
諸橋 虎雄 関 貴志

### 大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会

(定数9人 現員8人)  
大河津分水および長岡東西道路の整備推進に関する調査

- ◎五井 文雄 ○笠井 則雄  
池田 和幸 山田 省吾  
藤井 達徳 古川原直人  
高野 正義 小坂井和夫

### まちづくり・新エネルギー対策特別委員会

(定数8人 現員8人)  
まちづくりおよび新エネルギー政策に関する調査

- ◎丸山 勝総 ○中村 耕一  
多田 光輝 諏佐 武史  
松野憲一郎 荒木 法子  
大竹 雅春 水科 三郎

### 人口減少対策特別委員会

(定数8人 現員8人)  
人口減少対策に関する調査

- ◎関 正史 ○神林 克彦  
豊田 朗 池田 明弘  
田中 茂樹 加藤 尚登  
関 充夫 桑原 望

## 6月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかにそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録、インターネット録画中継をご覧ください。

### 総務委員会

- 持続可能な行財政運営プランにおける、休廃止等を行う施設の市民への周知
- 市内企業が製造する感染防止対策製品の優先的な購入
- 市民に分かりやすく読みやすい文書にするための工夫
- 選ばれるまちづくりのための移住・定住の推進
- 市所有の普通財産（土地）の状況と、相続登記未了土地の相続人特定方法
- 長岡市戦災資料館における運営ボランティアの役割と評価
- 本庁および支所の窓口業務の見直し

### 産業市民委員会

- 令和3年度全国高等学校総合体育大会男子バスケットボール競技大会開催に対する市の取り組み
- 市内各種スポーツ施設の統廃合に対する市の考え
- 市内飲食店等への支援状況および今後の支援
- 農家への園芸導入に対する市の支援
- 農村集落の存続に向けた市の施策
- カーボンニュートラルに向けた取り組みにおけるバイオエコノミー事業等関係者との連携体制
- ドイツ大使館に描かれた中川清兵衛の壁画に対する市の認識

### 文教福祉委員会

- 強度行動障害者への支援
- ウイルス禍における高齢者の健康維持に対する市の認識と対策
- 介助員や特別支援介助員の勤務状況および待遇
- ウイルス禍における国民健康保険料や介護保険料等の減免・軽減
- 保育園をハザードマップ浸水想定区域内に新設することに対する市の認識
- 学校現場における地場産物の使用増加への取り組み
- 新型コロナウイルスワクチン接種の予約未完了な高齢者に対する情報発信

### 建設委員会

- 左岸バイパス整備の進捗状況および今後の予定
- 国道289号八十里越道路の整備状況
- 都市計画マスタープランと立地適正化計画を踏まえた長岡市のまちづくりの将来像
- 市発注新築工事の監理委託における監理者決定までの手続き
- 観光施設までのアクセス道路の雑草対策

# 市議会の活動状況

5月		
13日	議員協議会	
14日	議会運営委員会	
5月臨時会	議会運営委員会	
	本会議	
	文教福祉委員会	
	産業市民委員会	
21日	総務委員会	
21日	人口減少対策特別委員会	
	まちづくり・新エネルギー対策特別委員会	
6月		
11日	議会運営委員会	
6月定例会 (14日間)	議会運営委員会	
	本会議(招集日)	
	16日	本会議
	17日	本会議
	21日	建設委員会
	22日	産業市民委員会
	23日	文教福祉委員会
	24日	総務委員会
28日	議会運営委員会	
	文教福祉委員会	
	本会議(最終日)	
7月		
15日	克雪・危機管理・防災対策特別委員会	
	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会	
29日	議員協議会	
8月		
6日	議会運営委員会	

## 議員協議会を開催

議員協議会を開催し、以下の項目について市から説明があり、議員から質疑が行われ、意見が出されました。

5月13日

・長岡市における新型コロナウイルス感染状況等について

7月29日

①支所地域における今後のまちづくりについて(案)

②長岡市川口総合交流拠点施設について



議員協議会の様子

## 8月1日 長岡市平和祈念式典に出席



式典であいさつする松井議長

長岡市主催の「長岡市平和祈念式典」がアオーレ長岡のアリーナを会場に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年と同様に規模を縮小して開催されました。

県内唯一の大規模戦災都市として戦没者を追悼し、平和の尊さを発信するため、式典の始めに黙とうがささげられた後、松井議長のあいさつや戦災殉難者遺族代表等による献花、長岡空襲体験者のお話や中学生による非核平和都市宣言の朗読が行われました。

## 8月6日 政策検討会議の設置を要望

長岡市の中山間地域の振興をめざす議員有志から松井議長に対し、政策検討会議(中山間地域振興条例(仮称)制定検討委員会)の設置について申し入れがありました。

これは、中山間地域の振興を進めるべく、議会と行政が一体となって強力に事業推進ができるよう、議員提案の政策条例の制定を検討する会議の設置を要望したものです。



松井議長に対し政策検討会議の設置を要望

## 9月定例会の日程

傍聴の際は感染症対策にご協力ください

7	8	9	10	13	14	15	16	21	22	23	24	28
火	水	木	金	月	火	水	木	火	水	木	金	火
議会運営委員会 本会議(招集日)	本会議(※)	本会議(※)	本会議(※)	建設委員会	産業市民委員会	文教福祉委員会	総務委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会		決算審査特別委員会	本会議(最終日) 議会運営委員会

(※) 9月8日(水)~10日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短縮される場合があります。

## 本 会 議

・開 会 午後1時  
・傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて  
・定 員 40人、車いす席2人、親子傍聴席10人  
※感染症対策のため、一時的に定員数を変更しています。

## 議会運営委員会

・開 会 午前11時30分  
・傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて  
・定 員 12人

## その他委員会

・開 会 午前10時  
・傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて  
・定 員 12人

## 令和2年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究活動の充実を図るために必要な経費の一部を補助するものです。本市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています(会派に属していない議員は、所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています)。

平成28年度分以降の政務活動費については、収支報告書のほか、領収書等の証拠書類の写しもアオーレ長岡(東棟)3階の庶務課情報公開コーナーで閲覧等が可能です。証拠書類の写しの閲覧等には、届出が必要となりますので、庶務課職員にお声掛けください。

なお、令和元年度交付分(5~3月分)から、収支報告書の写しをホームページでも公開しています。

会派名	市民クラブ(16人)	長岡令和クラブ(5人)	長岡市公明党(3人)	民成クラブ(2人)	共産党市議団(2人)	無所属(藤佐武史)	無所属(桑原 望)	無所属(水科三郎)	無所属(関 貴志)	無所属(松野憲一)	無所属(丸山広司 議長)	合計
収入の部												
政務活動費	11,520,000	3,000,000	2,160,000	1,800,000	1,440,000	720,000	720,000	720,000	720,000	600,000	720,000	24,120,000
雑 入	46	2	8	1	1	0	2	4	4	2	3	73
合 計①	11,520,046	3,000,002	2,160,008	1,800,001	1,440,001	720,000	720,002	720,004	720,004	600,002	720,003	24,120,073
支出の部												
調査研修(研究)費	1,700,569	1,525,529	438,556	341,378	97,000	116,691	182,178	61,277	283,953	7,448	58,246	4,812,825
広報広聴費	2,068,095	470,570	75,746	514,821	1,079,199	483,353	203,500	0	51,806	303,466	0	5,250,556
要請・陳情活動費	0	0	20,060	0	0	0	0	0	0	0	0	20,060
資料費	1,482,758	342,283	435,814	141,780	180,052	19,770	86,069	139,902	77,300	53,789	126,318	3,085,835
情報通信費	1,981,863	138,915	582,937	362,810	52,488	26,244	61,444	163,068	57,408	21,870	130,269	3,579,316
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費	1,634,198	321,644	489,447	238,837	30,722	71,190	66,389	114,696	70,088	19,229	0	3,056,440
合 計②	8,867,483	2,798,941	2,042,560	1,599,626	1,439,461	717,248	599,580	478,943	540,555	405,802	314,833	19,805,032
収支差引残額①-②	2,652,563	201,061	117,448	200,375	540	2,752	120,422	241,061	179,449	194,200	405,170	4,315,041

※収支差引残額については、市に返還されます。雑入の内訳は、全て預金利息です。  
※無所属(松野議員)は、会派の解散に伴い令和3年2月12日付で収支報告書を提出し、収支差引残額は市に返還済みです。  
なお、2月から長岡令和クラブに所属しています。  
※加藤一康議員逝去(令和2年9月17日)により、10月から民成クラブの議員数は2名です。

